

平成26年度「全国学力・学習状況調査」における
松ヶ江南 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成26年4月22日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語・算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 【国語A・算数A】	主として「活用」に関する問題 【国語B・算数B】
<ul style="list-style-type: none">・ 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容・ 実生活において不可欠であり、常に活用できているようになっていくことが望ましい知識・技能	<ul style="list-style-type: none">・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力・ 様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力

(2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

松ヶ江南 小学校「平成26年度 全国学力・学習状況調査」の結果について

1. 教科に関する調査結果の概要

① 学力調査(国語A・B、算数A・B)結果

・本校の結果

国語A	全国平均正答率を下回っている。
国語B	全国平均正答率を下回っている。
算数A	全国平均正答率を下回っている。
算数B	全国平均正答率を下回っている。

(資料) 本市・全国の結果【平均正答率】

		国語A	国語B	算数A	算数B
平成24年度	本市	79.4	52.2	70.4	56.1
	全国	81.6	55.6	73.3	58.9
平成25年度	本市	60.3	46.3	74.6	56.5
	全国	62.7	49.4	77.2	58.4
平成26年度	本市	69.1	52.6	76.2	55.4
	全国	72.9	55.5	78.1	58.2

② 学力調査結果の分析

国語A	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> ・全国平均正答率をやや下回っている問題が多かったが、書く問題では、上回ることでできた。 ・言語知識理解に課題がある。
	よくできた問題	複数の事柄を並列の関係で書く問題は正答率が高い
	努力が必要な問題	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり、書いたりする問題は、正答率が全国よりも低かった。

国語B	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> ・全国平均正答率を下回っていたものの、昨年度より上昇していた。 ・目的に応じて読むことに課題がある。
	よくできた問題	二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉える問題は、全国平均正答率より高かった
	努力が必要な問題	課題を解決するために、目次や索引を活用して、本を効果的に読む問題は正答率が低かった。

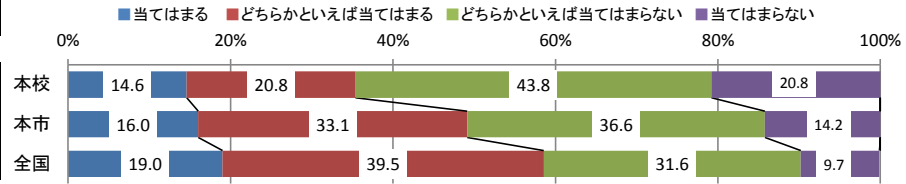
算数A	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> ・全国平均正答率をわずかに下回っていたものの、昨年度より上昇していた。 ・量と測定についての知識・理解に課題がある。
	よくできた問題	図形に関する問題は正答率が高かった。
	努力が必要な問題	単位量当たりの大きさの求め方を答える問題では、正答率が低かった。

算数B	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> ・全国平均正答率を下回っていた問題が多かったが、記述式問題で全国平均正答率を上回ることができた問題もあった。
	よくできた問題	示された場面から基準量と比較量を捉え、倍を求める問題は正答率が高かった。
	努力が必要な問題	全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択する問題の正答率が低かった。

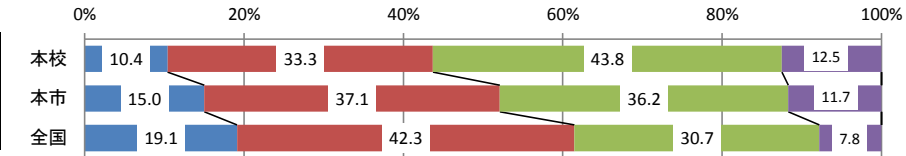
③ 学校での学習状況に関する調査結果

質問番号
質問事項

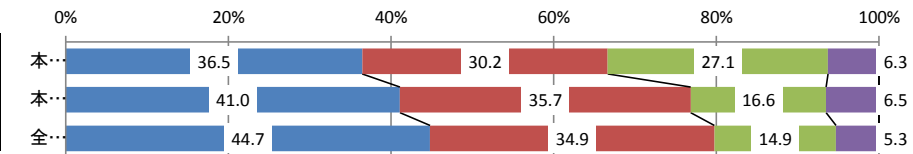
56
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか



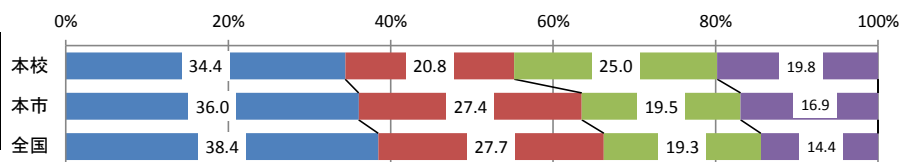
55
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか



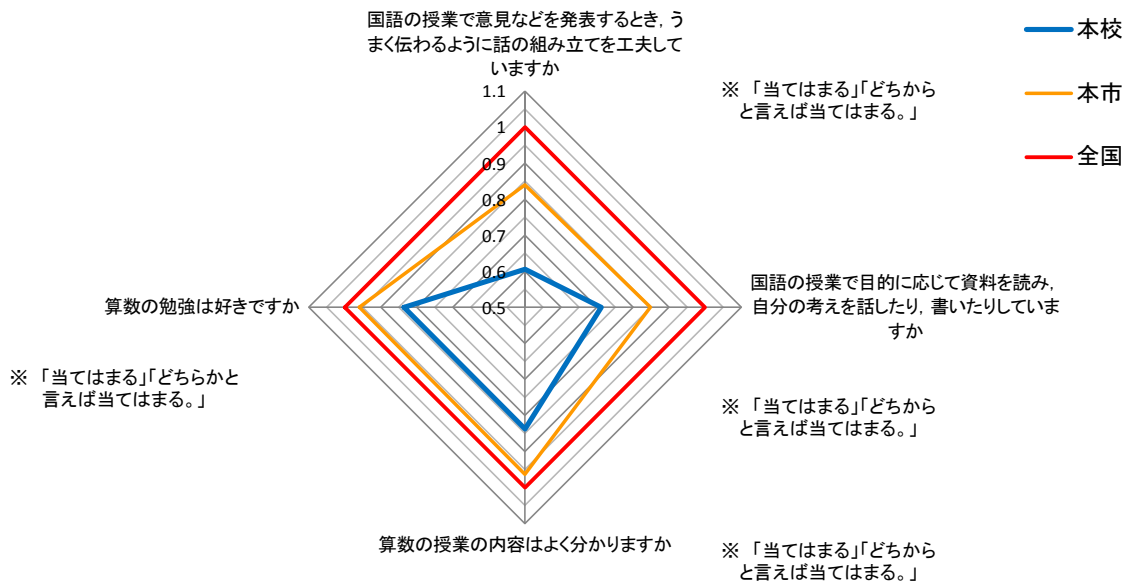
64
算数の授業の内容はよくわかりますか



62
算数の勉強は好きですか



④ 本校と本市の対全国比(全国を1とする)



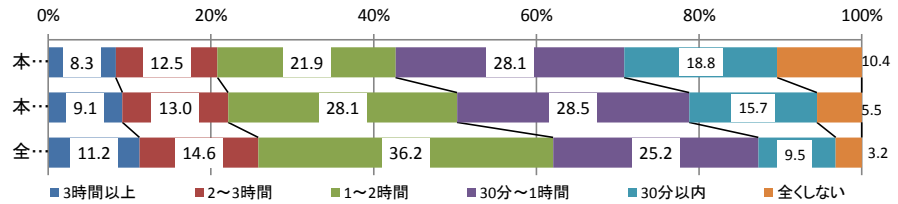
⑤ 学校における学習状況に関する調査結果の分析

- ・読書が好きな児童は増えている。今後、自分の好きな本を読むだけでなく、目的を持って読書をする必要がある機会を増やす授業を行っていく。
- ・算数の勉強が好きですか、わかりますかという内容が前回よりも下回った。分かる、できる授業を行っていく。

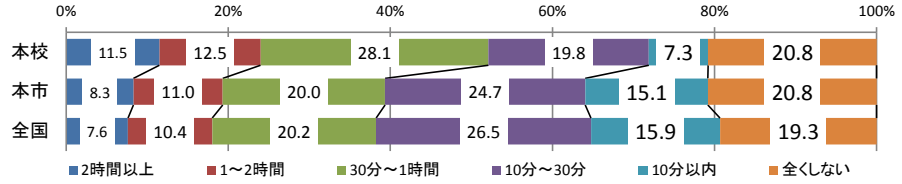
2. 家庭生活習慣等に関する調査結果の概要

① 家庭学習習慣に関する調査結果

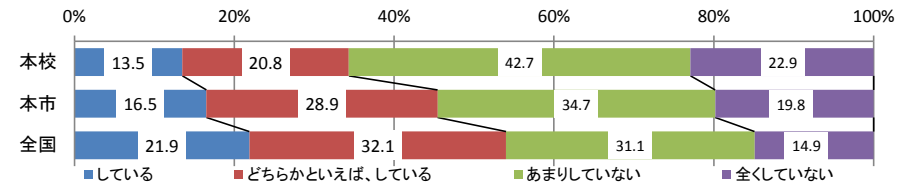
14
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)



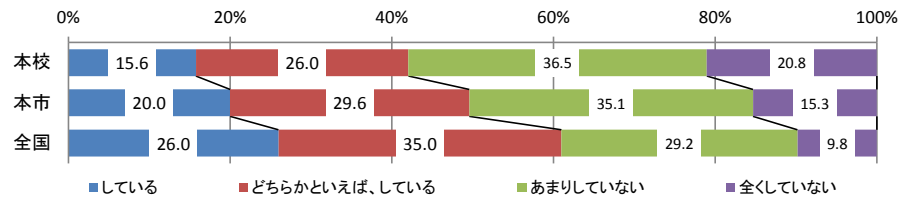
17
家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌除く)



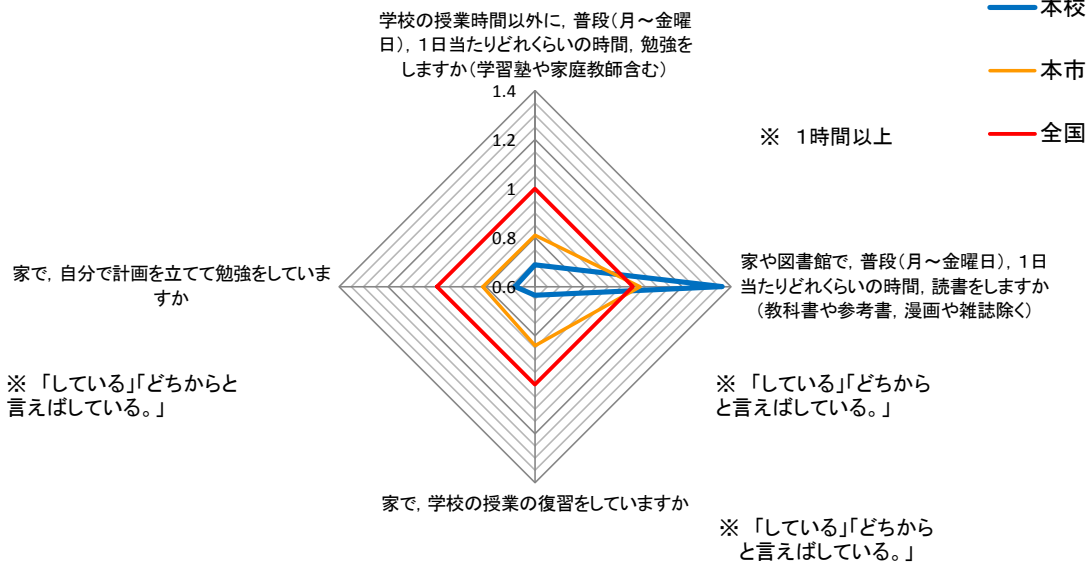
24
家で、学校の授業の復習をしていますか



21
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



② 本校と本市の対全国比(全国を1とする)

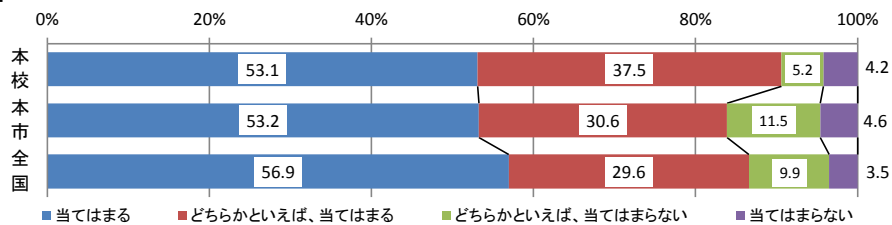


③ 家庭学習習慣に関する調査結果の分析

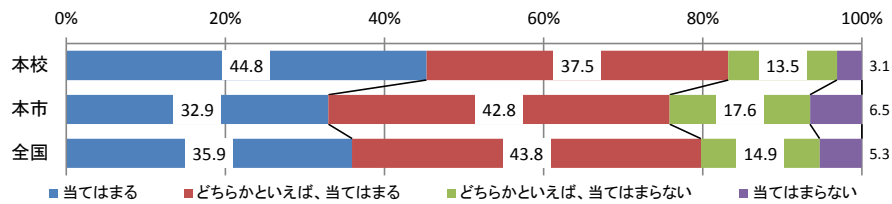
・読書をする習慣が身についている。読み聞かせの取り組みの成果である。
 ・家庭学習をする習慣が身につけていない。全校で時間のめやすを示したり、家庭学習の具体的な取り組み方を指導する必要がある。

④ 生活習慣等に関する調査結果

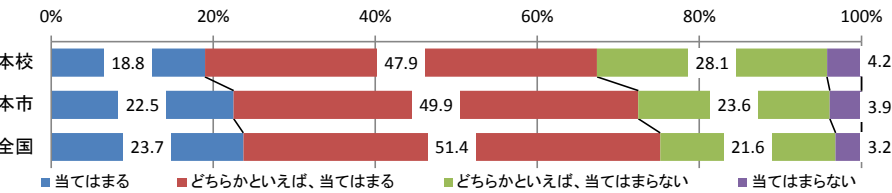
27
学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある



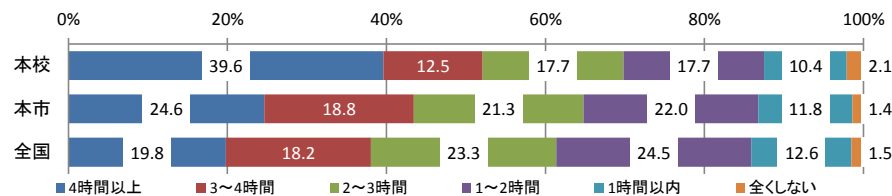
28
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う



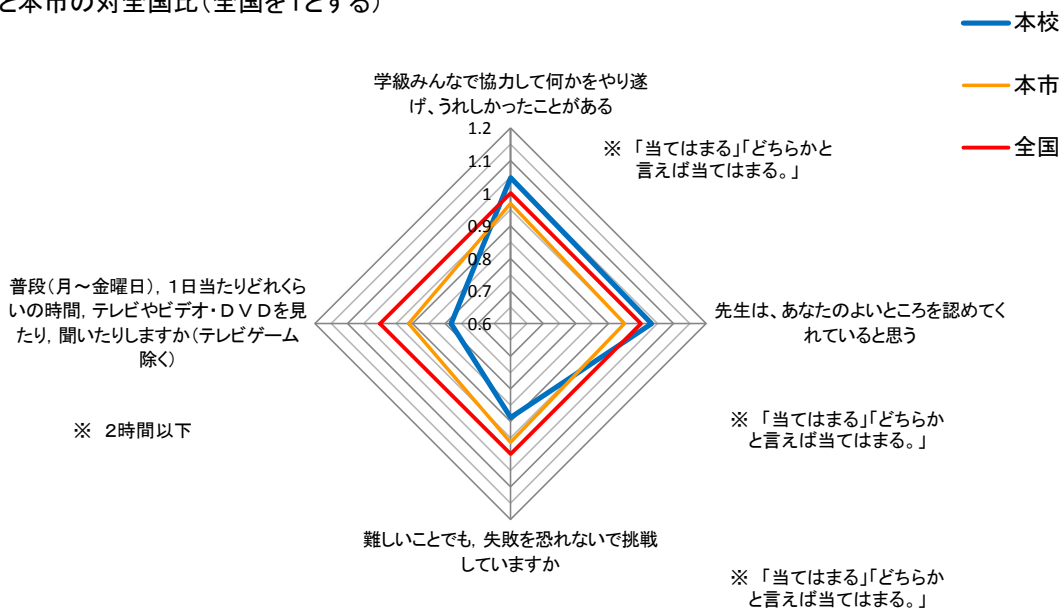
5
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか



11
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲーム除く)



⑤ 本校と本市の対全国比(全国を1とする)



⑥ 生活習慣等に関する調査結果の分析

・テレビ等の接触時間が多い。特に3時間以上の長時間の利用の割合が多い。
 ・教師から認められ、協力して達成する喜びを感じている割合が高くなっている。
 ・挑戦することに課題がある。課題設定の場面から振り返りの場面まで意図的に仕組む必要がある。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

※ 「◎」は現在取り組んでいること 「○」は今後取り組むこと 「・」は事例

- ◎ 学力向上のための特設時間の実施
 - ・朝自習〈松南タイム〉で全校一斉に実施
 - ・特設時間(給食準備中の算数マスタータイム)の取組内容計画表作成(学力向上推進委員会・各学年)
 - ・国語・算数の過去問題、アシストシート、単元別プリント等の準備。
 - ・小中連携サポーター・・・計画的な配置、活動補助、プリント整備。
- ◎ 過去問題、アシストシート、活用力を高めるワークの活用
 - ・単元末に過去問題や活用ワークの問題を位置付け「力だめし」をする。
 - ・アシストシートを宿題とし、朝自習で答え合わせ、解説、やり直しを行う。
 - ・アシストシートと過去問を冊子にして、冬休み・春休みの「宿題帳」とする。
- 「言葉の学習」の取組
 - ・書くことへの抵抗感をなくす。
 - ・自分の考えをひとまとまりの文章(主張+理由)で書く習慣化。
 - ・自分の考えを広げ、深めるための思考法や交流の練習。

② 家庭生活習慣等に関する取組

※ 「◎」は現在取り組んでいること 「○」は今後取り組むこと 「・」は事例

- ◎ 宿題のスタンダード化(時間、学年別・教科別内容)
 - ・「家庭学習チャレンジハンドブック」の活用
 - ・自主学習ノートの活用
 - ・家庭学習時間の設定
 - ・「家庭学習の約束」の作成・実施
 - ・家庭学習マイスター賞への応募
 - ・冬休み・春休みの宿題に、過去問題やアシストシートを活用
- ◎ 全国学力・学習状況調査の課題と取組等を保護者へ周知
 - ・学校便り・学校HP